

授業特別協力者(ゲストスピーカー)報告書

テーマ : 現場目線の企業と大学とのマッチング
授業特別協力者名 : 工藤 謙一 氏
実施日時 : 2023年11月16日(木) 2時限
担当教員名 : 羽田 尚子
授業科目名 : イノベーション論
履修者数 : 65名

実施結果

中央大学研究支援室の工藤さんに、主に以下をお話しいただいた：

- ・中央大学研究支援推進本部（産学連携コーディネート機関）の設置目的と期待される役割
- ・中央大学（主に理工学部所蔵の先生方）産学連携の事例

講義では、異なる知識の活用のための制度として1990年頃から整備された産学連携のための法整備（TLO法、日本版バイドール法、国立大学の法人化）を学んだ。また、産学官連携の実績や大学発ベンチャーの現状についても学んだ。ただしこれらはマクロ的な視点での話であった。このため、一組織の活動をミクロ的な視点から紹介いただく必要があり、実務家のお話を聞く機会を設定した。産学官連携のメリット、デメリットを整理した上で、自治体、大学、企業との連携事例（青森県三戸）を紹介いただいた。中央大学発のベンチャー企業ソラリス（上腕アシスト装置。リンゴの収穫補助器具として使用）、沖電気のスマート農業（カメムシ発見装置）、最近創業した中大初ベンチャーのスマートサウンドデザイン株式会社など中央大学の研究シーズが関与した複数の産学連携プロジェクトを画像等を用いて説明いただいた。

今回、中央大学の産学連携担当者に来ていただいたので、商学部の学生が（理工キャンパスを含めた）本学の学術研究における取り組みを知る上でも有用であった。教育以外の中央大学の社会活動を知るのには、卒業前によい機会ではないかと思われる。中央大学の事務職員の方（2名）も聴講されていた。

